

地域密着型サービス事業者 自己評価表

認知症対応型共同生活介護事業所・小規模多機能型居宅介護事業所)

| | | | |
|-----------|---|---------|------------|
| 事業者名 | ふれあいみなみ野館 | 評価実施年月日 | 平成20年1月18日 |
| 評価実施構成員氏名 | 松本 真由美 松岡 多恵子 堀田 小百合 木本 千裕 伊東 志織 小川 二美 | | |
| 記録者氏名 | 松本 真由美 | 記録年月日 | 平成20年1月24日 |

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念の共有 | | | |
| <p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p> | 運営理念がある。 | ○ | 理念に基づくサービスの向上に努めていきたい |
| <p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p> | スタッフ全員で共有し、その実践に向け会議、カンファレンス等で話し合いケアに生かして行ける様努力している | ○ | 実践に向け疑問、思惑時、困った時等はスタッフ間で話し合い相談を行い日々取り組んでいる。 |
| <p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p> | 理念は玄関、リビング、スタッフルームに掲示しており、家族には重要事項説明書に記載されており、入居時に説明を行っている | ○ | 地域においては浸透されていないと思うので、運営推進会議を活用して働きかけていきたいと思う |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| <p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p> | 挨拶は積極的に様子を見てあげている。又冬の除雪等は助け合っている | ○ | ホームへ気軽に遊びに来て頂ける様子を取り組みを進めていきたい |
| <p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> | 町内会に加入しており、行事がある時には参加させていたっており、「みほみ野館だまり」を作成し町内に回覧している。又、「みほみ野まつり」を開催し町内会にも参加の呼びかけを行っている | ○ | 「みほみ野館だまり」、「みほみ野まつり」を今後も続けていきたい |
| <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> | 行っていない。 | ○ | 地域貢献等について今後話し合い、取り組んでみたいと思う |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|---------------------------------------|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。 | 全員が理解し、改善に取り組んでいる。 | ○ | 評価を活かして改善に取り組んでいるが、更物に関しては改善が難しい点もある。 |
| 8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 運営推進会議を定期的に行っている | ○ | 委員からの評価、要望、助言等を参考に、サービスの向上に活かしていきたい |
| 9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。 | 必要に応じ、相談、連絡等を行っている。 | | |
| 10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。 | 学ぶ機会が多く活用している。 | ○ | 学ぶ機会を持ち、必要に応じ活用できるようにしていきたい。 |
| 11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 虐待は行われていないが、見過ごされる事が無い様に注意している。 | ○ | 虐待の可能性があると踏まえ、学ぶ機会を持ち防止に努める。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 入居の前に利用者や家族と話し合い納得して頂いてから契約を結び入居して頂いています | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|--|
| <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>意見、不満、苦情があった時は速やかに対応する様 努めている。</p> | ○ | <p>利用者が気軽に意見等を話して頂ける様 バカげアアを行っている。</p> |
| <p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p> | <p>健康状態については、その都度家族に報告、相談を 行っている。 金銭管理については毎月報告を行っている。おたより等を 定期的に出し近況報告を行っている。</p> | | |
| <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>ホームに来られた時に近況報告を行い、家族と意見等を聞か せて頂く様、心がけている。 重要事項説明書に言及されており、又、公的窓口を紹介 するポスターを見やすい所に掲示している。</p> | | |
| <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>スタッフ会議や日々意見を聞ける機会があり、スタッ フ間で決定し反映させている。</p> | | |
| <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。</p> | <p>勤務調整の体制はできており、急な通院、行事等 には調整を行っている。</p> | | |
| <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p> | <p>努力はしているが、異動や離職があった場合は 利用者へのダメージを最小限に抑える様配慮をしている。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 管理者は、社内、外の研修を受けている スタッフは社内、外の研修がある時には受けている | ○ | 全員が研修に出席できている。研修後報告会を行い、全員が研修の内容を学んでいる。 |
| 20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。 | 管理者は同業者との交流はあるがスタッフは交流の機会が無い。 | ○ | 今後、同業者との交流の機会を持ちサービス向上に努めたい |
| 21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。 | 管理者、スタッフ間では相談等を行いストレスの軽減に努めている。 | | |
| 22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。 | 把握しているとは思えない。 各自が向上心を持って働けるよう努めて欲しい。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。 | 入居前の面談で入居者、家族の希望等の聴き取りに努め、入居後も毎日の生活の中で聴くようにしている。 | | |
| 24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。 | 入居前の見学、面談等で家族と話し合い、納得された上で入居して頂いている。入居後もホームロムに来られた時、電話等で相談を受けたり、相談している。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|-------------------------------|
| 25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 相談時、入居者・家族の想いを確認し必要としている支援を見極めるよう心がけている。又、他のサービスの方が合うと思われる方には助言、紹介を行っている。 | | |
| 26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | 本人が安心し、馴染めるよう、座席等の配慮を行っている工夫している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。 | 出来事、出来事柄を把握し、出来事柄はして頂き、出来事柄は援助する様心がけ、入居者より学ぶ事も多く感謝の気持ちを出し支え合って生活しています。 | | |
| 28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。 | 情報、状況を共有し、家族と共に支援して頂ける様関係づくりに努めています。 | | |
| 29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。 | 本人と家族の関係を理解した上で、より良い関係を築いていただける様考え、相談し支援しています。 | | |
| 30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 馴染みの方に来て頂ける様、時間に制限無く面会して頂いています。又、通院時に入居時に主治医を変える事なく、馴染みの主治医の手子に頂いています。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|--|
| 31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。 | 入居者同士の関係を把握し、間に入り見守りを行い、総むかひに過ぎて頂ける様配慮している。 | ○ | 性格的に合わぬ利用者同士の関係には特に注意して見守りを行っており、スタッフが間に入りトラブルの防止を行っている。 |
| 32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。 | 他の施設へ移された利用者の所へ訪問したり、家族と電話連絡をとり関係が続いている。又、退居後も家族の方が来て下さり、利用者の話し相手をして下さっている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | |
| 33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | かかわりを大切にし訴えや表情等から利用者の意向を把握し、本人の希望に添える様努めている。 | ○ | 毎日の生活の中で把握に努めている。 |
| 34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 本人、家族、病院、ヘルパー等からの情報により生活歴や馴染みの暮らし方等の把握に努めている。 | ○ | 毎日の生活の中で把握に努めている。 |
| 35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。 | スタッフ間で入居者の現状の把握に努め、情報交換話し合いにより情報の共有に努めている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | 本人や家族の意見希望を配慮し、介護支援専門員とスタッフ全員参加によりカンファレンスを行い介護計画を作成している。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|-----------------------|------------------------------------|
| 37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | 変化が生じた時、本人、家族、主治医等と相談し介護支援専門員、スタッフ全員参加により介護計画の見直しを行っている。 | | |
| 38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 介護計画を記録と一緒にファイルしており、それに基づき記録を残し毎月評価、スタッフ全員によるモニタリングを行い介護計画の見直しに活かしている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | |
| 39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。 | 本人や家族の状況、要望に応じて支援している。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。 | 運営推進委員に民生委員の方にも参加して頂いている。警察、消防には協力依頼を行っている。 | | |
| 41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。 | 他のサービスを利用するための支援は行っている。 | ○ | 他のサービスを利用したいと本人、家族の希望があれば支援していきたい。 |
| 42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。 | 運営推進会議で、助言等をいただいている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|-------------------------------|
| <p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p> | <p>入居前よりかかりつけの主治医があり、通院の支援を行い相談も行っている。看護職員があり日常的に相談しづから健康管理を行っている。通院記録を残している。</p> | | |
| <p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p> | <p>主治医と相談しづから支援している。</p> | | |
| <p>45 ○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p> | <p>看護職員があり相談しづから日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p> | | |
| <p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p> | <p>病院関係者との情報交換や相談に努めている。</p> | | |
| <p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p> | <p>重度化した場合は本人、家族と相談し、協力医療機関と連絡を取りづから終末期の方向性を決める体制がある。</p> | | |
| <p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p> | <p>体制はできている。</p> | | ○ |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|-----------------------|-------------------------------|
| <p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p> | <p>本人、家族が納得し移れる様、十分な話し合いを行い情報提供に努めている</p> | | |
| <p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> | | | |
| <p>1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重</p> | | | |
| <p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p> | <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる事のない様対応に努めているが、スタッフ間でその様な対応をした場合は今後気をつけよう様話し合いをしている</p> | | |
| <p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p> | <p>個々に合わせた説明、対応を行い納得して頂ける様支援している。</p> | | |
| <p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p> | <p>一人ひとりのペースを大切にしながら、一日の流水の中にもそれぞれ役割を持って頂き、生きがいや喜びを感じてもらえる様支援している</p> | | |
| <p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p> | | | |
| <p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p> | <p>衣類は着替える時に好きな物を着て頂いています。 美容は本人の希望に配慮し、出張美容を利用したり、馴染みの店に行ける様支援しています</p> | | |
| <p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p> | <p>粥、キザミ、ミキサー食、トロリリン使用等、個々に合わせ提供している。盛り付け等に工夫をしている。 食事の準備、後片付けは利用者と一緒に協力しながら一緒に同じ食事を楽しんでいる。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|--|
| 55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。 | 食量、水分の制限、体重の増加に配慮し、本人、家族、主治医と相談しながら本人の希望に添える様支援しています。 | | |
| 56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。 | 利用者の訴えの様子を観察し、定期的なトイレ誘導も行い、なるべくトイレで排泄して頂く様支援している。 | | |
| 57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。 | 曜日、時間帯の決まりはあるが、個々に合わせ介助、半介助により、入浴をゆくり楽しめる様支援しています。 | ○ | 一人ひとりに合わせ、お湯、タオルを替えたり、バスケットを使用したり、浴槽に足を入れたりと工夫を行っています。 |
| 58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。 | 一人ひとりの睡眠パターンの把握に努め、状態に合わせて声掛け、見守り、誘導、介助を行っています。 | ○ | 空腹の訴えがある時は、ホットミルク、少量のおやつ等を提供する事もある。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 個々の状態に合わせて、出来る事をして頂き、役割分担を決め、一人ひとりが自分の仕事と向き合い張り合いを持ち生活して頂く様支援しています。又、おやつ時間を利用し、軽い体操、歌をうたって楽しんでいます。 | ○ | その時々状態、状況で、その利用者が役割を出来る時は、スタッフがフォローしておくも利用者間で行ってきている。大切に「見守って行う」と思っています。 |
| 60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 管理は日常的に職員が行っているが、お金を持ち、外食に行ったり、買物をしたり、支払は本人が行える様支援しています。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|-------------------------------|
| 61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。 | 声掛け、誘導、希望して外出、散歩、買い物等を行っているが、冬場は足元が危険な為、難しい | | |
| 62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。 | 行事を利用したり、家族の協力を得たりしながら支援している。 | | |
| 63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | 電話の利用は希望に応じて日常的に行っている。 手紙は代筆を行ったりし気軽にらせる様支援している。 | | |
| 64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | 家族の訪問はいつでも可能であり、気軽に訪問し返けよう心がけ、家族とスタッフとのコミュニケーションも大切にしている。知人、友人に関しても訪問していただいている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | |
| 65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 身体拘束はスタッフ全員が理解しており、行っていない | | |
| 66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。 | 日中は常に鍵をかけず、見守り声掛けにて対応している。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|---|
| 67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。 | プライバシーに配慮しながら、リビング会堂の見守りを行い昼夜、定期的に巡回を行っている | ○ | 2階に居室が多くスタッフレムが無い為、利用者の所在や様子を把握する為には日中でも定期的に巡回を行う必要がある。 |
| 68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。 | 一人ひとりの状態に応じて危険と思われる物品類は本人、家族了解のもとホームで預ったり、家族が持ち帰ったりしている。細かい物が趣味という利用者もあり、針、ハカミの確認、使用している時の預り等を行い、身しんど頂ける様支援している | | |
| 69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。 | 利用者の身体、精神状態の把握に努め、見守り観察を行い、事故等が起これば様々スタッフ間で注意し合い話し合いも行っている | ○ | ヒヤリハット、事故報告書を作成している |
| 70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。 | 緊急対応マニュアルを作成したり、救急の講習会に参加したり、講習会の報告を合ったりしているが、急変時の対応は経験者が少なく不安がある。 | ○ | 今後講習会、研修会に参加していきたい。 |
| 71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 | 防災訓練は定期的に行っている。 | ○ | 地域の人々の協力については、町内会長に依頼しており、今後防災訓練の参加のお願いも行っていく。 |
| 72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。 | 入居時に説明しており、利用者に変化等があった時は家族と連絡し相談を行っている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|-------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |
| 73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。 | 毎日、バイタル測定を行い、入浴時、着替え時には全身チェックを行っている。スタッフ間で情報を共有しており、必要時には後診をしている。 | | |
| 74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 医師の指示通りに服薬はしており、目的、副作用については薬剤師提供される説明書等で理解している。 | | |
| 75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。 | 排便の確認を毎日行っており、確認表を使用している。水分摂取量に気を付け、軽い運動を促したりしている。 | | |
| 76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。 | 一日に2回うがいを兼ねた、口腔ケアを行っており、就寝前には一人ひとりの力に応じ、声掛け、見守り、介助、半介助にて歯みがき、義歯洗浄等を行っている。 | | |
| 77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 食事摂取表を使用し管理している 食事制限のある利用者や個々に摂取量が違うので把握に努め提供している。 | | |
| 78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)。 | インフルエンザ予防接種は利用者、スタッフ全員が接種している。 日々、手洗い、うがい、午の消毒を行い、清潔保持をし、感染予防に努めている 感染マニュアルがある。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|-----------------------|-------------------------------|
| 79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。 | 消毒、除菌等をまめにやっている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり | | | |
| 80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。 | 出入り口の清掃、危険物の除去等に配慮し、玄関手前には花を置いたり家庭的な環境づくりを努めている。 | | |
| 81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 季節に合わせて花等を飾り、年中行事に合わせて飾り付けを利用者と一緒にしたりして、生活感や季節を感じて頂ける様配慮しています。 | | |
| 82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | リビング、会堂の他に自由に過ごして頂ける様、椅子やテーブル、ベンチを配置している。 | | |
| 83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 居室に置く家具等は本人と家族が相談して決めて頂いており、仏壇等を持って来られている入居者もおお。 | | |
| 84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。 | 入居者の様子や反応を観察しながら温度調節を行っています。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|--|
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | |
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | 一人ひとりの身体機能を把握し、一人では危険がぬき人には付しては付き添い見守りを行い、器具等を使い、身体機能を活かせる様工夫している。又、毎日体操や歌をうたって頂き、体力の低下を防ぎ、筋肉や関節を軟らかくして頂く様支援している。 | ○ 体操と歌を始めて一ヶ月にすぎず、利用者の動き、声の大きさ等表情にも変化が現れているので、これからも毎日続けて行きたい。 |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。 | 一人ひとりのわかる事を把握し、わかりやすい様、場所の標示をしたり、各居室は表札を貼り、声掛け誘導を行い、なるべく混乱しない様支援している。 | |
| 87 | ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。 | ホームの回りに空地が無く、畑等は作れないが、ベランダを利用し、外の空気を吸いながら倉倉を食べたり、ミニトマトを育てたりしている。 | |

| V. サービスの成果に関する項目 | | |
|------------------|--|---|
| 項目 | 取り組みの成果 | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | <ul style="list-style-type: none"> ✓①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | <ul style="list-style-type: none"> ✓①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | <ul style="list-style-type: none"> ✓①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている | <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ✓②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ✓②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | <ul style="list-style-type: none"> ✓①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | <ul style="list-style-type: none"> ✓①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | <ul style="list-style-type: none"> ✓①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない |

| V. サービスの成果に関する項目 | |
|------------------|--|
| 項目 | 取り組みの成果 |
| 96 | <p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ✓③たまに ④ほとんどない</p> |
| 97 | <p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ✓③あまり増えていない ④全くいない</p> |
| 98 | <p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>✓①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> |
| 99 | <p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>✓①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> |
| 100 | <p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>✓①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

- 利用者一人ひとりに役割を持って生きがいを感じて頂き、利用者間で助け合い、スタッフは常に感謝の気持ちをおぼれたい様、心掛け支援して生活していきます
- 毎日、おやつ時間を利用して体力の低下を防ぐ為、筋肉や関節の動作をゆめらかにする体操を行い、又、誤嚥の予防を兼ねて皆さんと大きな声で歌を楽しんでいます。